

授業科目 博物館研究演習Ⅱ	単位 2単位
授業担当者 広瀬 浩二郎	授業期間 後期
授業の題目と概要 「ユニバーサル・ミュージアムの理論と実践」 本演習では、近年の日本における「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)をめざす動向を紹介し、さらに世界各国の先進事例を比較検討する。誰もが楽しめるミュージアムを具体化するためにはさまざまな切り口があるが、本演習では「視覚障害者」と「さわる展示」に注目したい。	
授業の内容と計画 ① 視覚障害者の歴史(琵琶法師、イタコ、瞽女) ② 日本社会における視覚障害者の現状 ③ 日本宗教の障害者観 ④ 点字の成立・発展史 ⑤ 視覚と触覚の比較研究 ⑥ バリアフリーとユニバーサルデザイン ⑦ 「さわる展示」の歴史と展望 ⑧ 民博における「さわる展示」の意義 ⑨ ユニバーサル・ミュージアムという思想 ⑩ ユニバーサル・ミュージアムの事例(日本) ⑪ ユニバーサル・ミュージアムの事例(海外) ⑫ 博物館の21世紀的役割	
使用する参考書、参考論文等 広瀬浩二郎著『さわる文化への招待』(世界思想社、2009年) 広瀬浩二郎編『だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアム』(読書工房、2007年)	
成績評価基準 授業への出席、ディスカッションでの発言内容=30パーセント。 期末レポート(小論文)=70パーセント。	
その他の留意事項	

